

## 投資・財政計画（説明）

### 投資についての説明

本経営戦略では、資本的収支の見通しは平成 28 年以降が下水汚泥処理場負担金及び建設改良費に伴う地方債償還金となります。

歳入については、補助対象となる建設改良事業に国庫補助金、企業債を利用し、歳出につきましては資本費平準化債で平準化を図ります。

下水道事業は、一般財源での下支えは欠かすことができません。

### 財源についての説明

収益的収支について、料金収入が横ばいで推移し営業外収益が減っていくものとし算定しております。収入につきましては、加入戸数の増加は高齢世帯他の要因で鈍化の見込みであります。併せて、人口減少がさらに進むことに伴う使用料の減少が予測されます。よって収入の増加は見込めない状況であります。

ゆえに、下水道使用料の滞納分の徴収、下水道への加入促進を図りつつ財政状況の変化に対応し、将来予測を考慮した料金体系の検討をしていかなければなりません。